


御幸地区

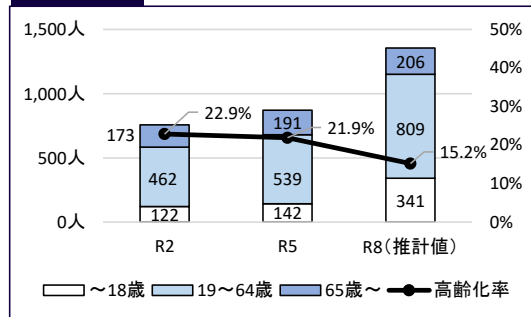
◆概要

	【位置図】	まち協名	御幸地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市東御幸町220-3	電話	0595-83-1232
		地区構成	東御幸町 御幸町		
		地域特性	亀山市中心から東に位置し、東西に旧国道1号が縦断しており、沿道にはショッピングセンターをはじめ、飲食店舗、金融機関、文化会館が存しており、JR亀山駅が近く利便性が高い地域です。また駅前再開発により令和4年度に市立図書館も整備されました。アパートやマンションへの新しい住民の流入が増加する一方、古くから住んでいた家屋が空家になるケースが増えつつあります。また一級河川の鈴鹿川やそこに流れ込む竜川があり、過去に幾度か氾濫し水害の被害に見舞れ、災害への危険性もあり備えが必要です。		
面積	66.4ha	ホームページ	http://www.zc.ztv.ne.jp/ec5svfnh/index.html		
めざす姿	生活環境が良く、安全安心に暮らせるまち				
地域の誇り	亀山機関区時代の名残である電動転車台や給水塔				

◆人口

	令和2年	令和5年	令和8年 (推計値)	増減	
総人口	757人	872人	1,356人	115人	
人口密度	11.39人/ha	13.12人/ha	20.41人/ha	1.73人/ha	
65歳以上	人口	173人	191人	206人	18人
	比率	22.9%	21.9%	15.2%	-0.9%
18歳以下	人口	122人	142人	341人	20人
	比率	16.1%	16.3%	25.1%	0.2%
外国籍	人口	48人	58人	10人	
	比率	6.3%	6.7%		0.3%

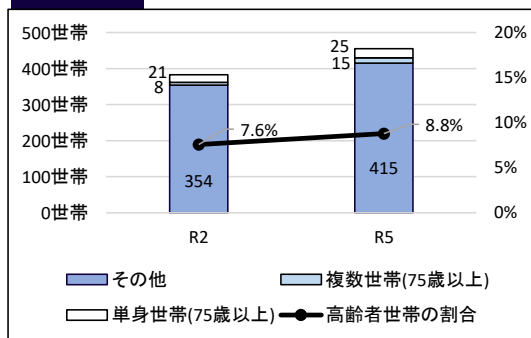
◆人口推移



◆世帯

	令和2年	令和5年	増減
総世帯	383世帯	455世帯	72世帯
単身世帯 (75歳以上)	21世帯	25世帯	4世帯
複数世帯 (75歳以上)	8世帯	15世帯	7世帯
高齢者世帯割合	7.6%	8.8%	1.2%

◆世帯推移



◆介護保険認定者

	令和2年	令和5年	増減
要支援1.2	11人	11人	0人
要介護1～5	14人	20人	6人
合計	25人	31人	6人

◆地域組織

	令和2年	令和5年	増減
自治会	9	10	1
老人クラブ	0	0	0
子ども会	1	1	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	2
主任児童委員	1
福祉委員	8
介護保険施設・事業所	0
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	1
病院・一般診療所	2
歯科診療所	2
薬局	3
保育所	0
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	1
学校(小・中・高)	0
乗り合いタクシー停留所	16

◆担当地域包括支援センター

亀山第2地域包括支援センター もくれん

◆サロン活動

	令和2年	令和5年	増減
ふれあいいきいきサロン	2	2	0
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	1	0	-1

◆福祉委員会活動

◆構成員まち協役員 民生委員・児童委員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】

高齢者と子どもとの三世代交流を深めるため御幸地区文化祭を行っています。

【訪問活動】

75歳以上一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯の見守り訪問活動を年6回行っています。

【その他】

出前講座や情報交換会を行っています。



感謝のつどい



文化祭

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・感謝のつどい
- ・文化祭
- ・ふれあい小旅行
- ・サロン活動
- ・自主防災活動

◆生活支援コーディネーターからのコメント

御幸地区の人口は872人で、令和2年度と比較し115人増加しており、そのうち21.9%にあたる191人が65歳以上です。地域内455世帯のうち、8.8%にあたる40世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の6.7%にあたる58人が外国籍です。

地域の特色として、地区内にショッピングセンターや医療機関、図書館、駅、郵便局などが立地し、便利な環境であると考えられています。マンションやアパートが多いことから、行事の案内は回覧板のほかに学校を通じて行うなど、多くの住民が地域活動に参加できるよう工夫されています。また、住民の防災意識の向上を図ることを目的に、地区独自の防災世帯台帳の更新や地域防災訓練の開催、福祉委員による高齢者見守り訪問を年6回実施するなど日頃から住民同士のつながりを意識した取り組みが行われています。今後、積極的に取り組まれている防災活動を通して住民同士の顔の見える関係性を深めるとともに、お互いに支え合う意識の醸成につなげていくことが期待されます。